

平成31年度 音楽科 2年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

音楽活動の体験を通じて音や音楽への興味・関心を養う。

多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じとり表現の技能を伸ばし、創意工夫する力を身につける

音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める

< 2 > 各学年・各分野の目標

西洋音楽や我が国の伝統音楽、など多様な音楽の音色・リズム・速度・旋律・強弱・形式・構成など音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの特質や雰囲気を感じ取る。

音楽用語や記号を音楽活動を通じて理解する。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度	音楽に親しみ、音楽に対する関心を持ち、主体的に学習に取り組む
音楽表現の創意・工夫	音楽の雰囲気を感じ取りながら知識・技能を活用し表現を工夫する
音楽表現の技能	音楽表現をするための基礎的・基本的な技能を身に付ける
鑑賞の能力	音楽の特質や雰囲気を感じ取りながら、よさを味わって聴く

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。（80％以上）
	B	おおむね満足できる状況である。（50％以上）
	C	努力を要する状況である。（50％未満）

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。（90％以上）
	4	十分満足できる状況である。（80％以上）
	3	おおむね満足できる状況である。（50％以上）
	2	努力を要する状況である。（50％未満）
	1	一層努力を要する状況である。（20％未満）

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 楽器（リコーダー）使用 ←表現のための基礎的な技能を身に付ける。
- ② ワークシートでの学習 ←音楽の要素や特質を理解し、鑑賞や表現に活かす。
- ③ パートリーダーを中心としたグループ学習←主体的な音楽表現

音楽科 2 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準 評価の方法
			関	創	技	鑑	
4	ガイダンス（１）	歌うための準備	●		●		・正しい発声と発音で歌える（観察） ・基礎的知識事項を身につけている（定期考査） ・日本語の美しい響きを生かして歌っているか（観察） ・歌詞が表す情景をイメージし、歌唱しているか
	基礎楽典（１）	校歌、基礎的知識事項	●		●		
5	日本の美しい情景を表す歌（２）	浜辺の歌	●	●	●		
			●	●	●		
6	声部の関わり方の理解（２）	「小フーガ ト短調」	●			●	
	リコーダーに親しもう（２）	リコーダー合奏	●		●		・バロック時代の音楽様式・楽器に関心を持っているか（ワークシート） ・正しい奏法で演奏する（実技試験、観察）
7	声部の役割の理解（４）	混声３部合唱					
8	曲想の変化を生かして	合唱祭自由曲	●	●	●		・強弱記号や、言葉がもたらす音楽の変化を理解し、歌唱している ・意欲的に合唱に取り組もうとしている（実技試験、観察） ・日本の伝統楽器の音色・音階速度の変化を感じとっている（ワークシート・定期考査） ・基本的な奏法を身につけている（観察、実技試験） ・曲想の変化、音楽の構成の仕方に着目して聴いているか（ワークシート） ・古典派の音楽形式を理解して鑑賞している（ワークシート・定期考査）
9	（８）	混声３部合唱					
10							
11	邦楽に親しむ（２）	雅楽「六段の調べ」	●			●	
	和楽器に触れてみよう（３）	箏の実技	●		●		
12	絵画と音楽との関わり（１）	「展覧会の絵」	●			●	・曲想の変化、音楽の構成の仕方に着目して聴いているか（ワークシート） ・古典派の音楽形式を理解して鑑賞している（ワークシート・定期考査）
	曲の形式を理解して（１）	「交響曲第５番 運命」	●			●	
	リコーダーに親しもう（１）	リコーダー	●		●		・基本的な奏法を身につけている（観察、実技試験）

1	創作（唱歌形式）（4）	形式の理解	●	●	●		（観察・定期考査・実技）
2							
3	日本の伝統芸能（2）	勸進帳	●			●	・総合芸術としての表現の豊かさを味わって鑑賞している（ワークシート・定期考査）
	歌詞にふさわしい歌唱表現を考える（1）	校歌、日本歌曲	●				・強弱記号や、言葉がもたらす音楽の変化を理解し、歌唱している（観察、定期考査）